



つや姫の出穂が早まっています！

出穂期の水管理に切り替えましょう！

1 出穂状況と今後の天候

- つや姫の作況圃の出穂期は8月7日で、平年より3日早まっています。
- 管内のつや姫栽培圃場でも、出穂が始まっている圃場が見られます。
- 今後数日間の気温は平年より高く推移する予報です（表）。また、8月の気温は平年より高い見込みです（仙台管区气象台、8月1日発表）。

酒田市の天気予報（8月7日11時 あぐりんウェザー）

日	7(水)	8(木)	9(金)	10(土)	11(日)
天気					
最高(℃)	33(-1)	-	35	32	31
最低(℃)	-	25(+0)	25	24	23

2 出穂期以降の水管理のポイント

- 出穂開花期の水分不足は、不稔粒の増加や穂の出すくみの原因となります。出穂始めから穂揃期の約1週間は湛水(2~5cm)しましょう。
- 穂揃期後は間断かん水を基本とし、根の活力を維持しましょう。
- ☑出穂後高温で経過した場合は、胴割れ粒や白未熟粒の発生が増加するので、冷たい水との入れ替えや飽水管理等に努めましょう。
- ☑フェーン現象による異常高温や、台風による強風が予想される場合は、湛水して稲体を保護しましょう。
- 出穂後30日までは間断かん水を続け、その後落水しましょう。早期落水は、収量や品質の低下の原因となります。

農作業中の熱中症に注意！！水分補給等の対策を

